

黄色いジュウタン

春は菜の花千曲川



2012年の菜の花祭り

5月の初めに行われる「菜の花祭り」では、2万人から2万5千人もの人々が来る。九州、東北、新潟からも人が来る。菜の花公園の全体面積は5ヘクタール。その中で菜の花が咲いている面積は、4ヘクタールである。「菜の花さかせるかい」では、9月に種をまき、冬をこして5月には菜の花を満開にさせる。6月ごろ

菜の花公園の朧月夜

朧月夜暴祭は、今年で12回目になる。菜の花のある夜は、「朧月夜」の情景そのまま。菜の花を照らす春の月がほのかに霞んで千曲川が鈍い銀色に光る。その情景を見下ろす良いポイントに、「朧月夜」の歌碑

に菜の花を全て刈ってしまおうのだ。「菜の花さかせるかい」は、現在43人いる。一年間を通じて作業する。菜の花公園には、公園管理棟「寄楽舎(よらつしや)」がある。可愛い屋根に時計とカリオン(鐘)を載せた寄楽舎は、公園のシンボリック的存在。自然体で落ち着いたデザインは、満開の菜の花と調和している。

がある。作詞者・高野辰之は、中野市出身。皆さんにも菜の花の美しさを知ってほしい。



秋は「えびす講」

えびす講は、11月初旬、上町、本町中町商店街で開催される。出店や地域の人が出店している店もある。出店は、タピオカジュース、フリフリポテト、クレール、チョコバナナ、から揚げなど。そ

の中でも、チョコバナナやタピオカジュースが人気だ。午前中に開催される「ミニ駅伝」は見所だ。太鼓の演奏などもある。皆さんにも、えびす講の良さ、楽しさを知ってほしいと思う。



2012年のえびす講